



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月13日

上場取引所 東

上場会社名 千代田インテグレ株式会社

コード番号 6915 URL <https://www.chiyoda-i.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小池 光明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 管理本部長兼経理部長 (氏名) 村田 功 TEL 03-6386-5556

四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	9,582	7.7	664	25.7	950	47.6	684	50.3
2023年12月期第1四半期	8,897	△2.0	528	△1.3	643	△4.7	455	△10.0

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 2,057百万円 (158.9%) 2023年12月期第1四半期 794百万円 (△56.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	64.25	-
2023年12月期第1四半期	40.06	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	49,317	39,686	80.5
2023年12月期	48,410	38,865	80.3

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 39,686百万円 2023年12月期 38,865百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	-	0.00	-	116.00	116.00
2024年12月期	-	-	-	-	-
2024年12月期（予想）	-	0.00	-	-	-

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	19,000	2.1	1,250	1.7	1,350	△22.4	900	△22.3	84.48
通期	41,000	4.0	3,100	1.4	3,300	△12.5	2,300	△10.0	215.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、 除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有  
詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期1Q	11,628,929株	2023年12月期	11,628,929株
② 期末自己株式数	2024年12月期1Q	976,079株	2023年12月期	976,039株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期1Q	10,652,875株	2023年12月期1Q	11,368,474株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中東情勢の緊迫の高まり、中国経済の停滞懸念等の地政学リスクは増加し、インフレ圧力の高止まりや不安定な為替相場も加わり、先行きが不透明な状況が続きました。米国では、金融引き締めが続くなか景況感は製造業を中心に堅調となり、雇用環境・個人消費は底堅く推移しました。中国では、不動産関連産業が一段と低迷して成長減速圧力があり、政府による景気刺激策があったものの消費は伸び悩み、景気は低調な状況が続きました。他のアジア地域では堅調な内需に支えられ、サプライチェーンの多様化による直接投資の流入等により、景気は緩やかな回復基調となりました。

また、我が国経済は、外国人観光客によるインバウンド需要の増加が続いたものの、内需の柱である個人消費、設備投資が低迷したことで景気回復が足踏みしている状況となりました。

このような経営環境の中で、コア技術であるソフトプレスを柱とし真のグローバル企業を目指すため、中期経営計画に基づいて事業活動を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は9,582百万円（前年同四半期比7.7%増）、営業利益は664百万円（前年同四半期比25.7%増）、経常利益は950百万円（前年同四半期比47.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は684百万円（前年同四半期比50.3%増）となりました。

セグメントの業績につきましては、次のとおりであります。

日本は、各分野が堅調に推移した中で、営業強化の成果も見え始めA E機器向けが好調を維持し、売上高は2,544百万円（前年同四半期比12.1%増）、営業利益は196百万円（前年同四半期比841.7%増）となりました。

東南アジアは、A V機器向けが当初予想を上回って堅調に推移し、O A機器向けも底堅く推移し、売上高は3,364百万円（前年同四半期比11.3%増）、営業利益は301百万円（前年同四半期比38.0%増）となりました。

中国は、ゲーム機器向けの需要が一巡したことにより低調だったものの、A E機器向けが伸長し、売上高は2,444百万円（前年同四半期比5.9%減）、営業利益は179百万円（前年同四半期比41.7%減）となりました。

その他は、米国でA V機器向け事業から撤退したものの、A E機器向けが引き続き好調に推移し、売上高は1,228百万円（前年同四半期比22.0%増）、営業損失は20百万円（前年同四半期は15百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ906百万円増加し、49,317百万円となりました。その主な要因は、投資有価証券の増加304百万円、建設仮勘定の増加248百万円及び現金及び預金の増加233百万円であります。負債合計は、前連結会計年度末に比べ85百万円増加し、9,630百万円となりました。その主な要因は、賞与引当金の増加189百万円及びその他（未払費用）の減少85百万円であります。純資産合計は、前連結会計年度末に比べ821百万円増加し、39,686百万円となりました。その主な要因は、為替換算調整勘定の増加1,151百万円及び利益剰余金の減少551百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、当社グループを取り巻く経営環境等是不透明であります。現時点におきましては2024年2月13日付の当社「2023年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」において公表いたしましたものに変更ありませんが、必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

なお、連結業績予想の前提とした為替レートにつきましては、1米ドル=140円で算出しております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	17,174	17,407
受取手形及び売掛金	10,265	10,006
商品及び製品	1,768	1,740
仕掛品	458	480
原材料及び貯蔵品	2,323	2,373
その他	488	511
貸倒引当金	△28	△29
流動資産合計	32,450	32,492
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,202	13,539
減価償却累計額	△8,443	△8,727
建物及び構築物(純額)	4,758	4,811
機械装置及び運搬具	10,800	11,174
減価償却累計額	△7,579	△7,878
機械装置及び運搬具(純額)	3,220	3,296
工具、器具及び備品	2,296	2,424
減価償却累計額	△1,954	△2,057
工具、器具及び備品(純額)	341	367
土地	2,575	2,584
使用権資産	768	939
減価償却累計額	△511	△594
使用権資産(純額)	256	345
建設仮勘定	426	674
有形固定資産合計	11,579	12,079
無形固定資産		
ソフトウェア	141	129
ソフトウェア仮勘定	126	145
その他	0	0
無形固定資産合計	267	274
投資その他の資産		
投資有価証券	2,805	3,109
繰延税金資産	342	364
その他	998	1,029
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	4,113	4,470
固定資産合計	15,960	16,825
資産合計	48,410	49,317

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,655	4,605
短期借入金	1,020	1,020
リース債務	162	183
未払法人税等	383	304
賞与引当金	431	620
その他	1,553	1,391
流動負債合計	8,206	8,125
固定負債		
リース債務	108	169
繰延税金負債	731	811
退職給付に係る負債	432	457
その他	65	66
固定負債合計	1,339	1,504
負債合計	9,545	9,630
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,331	2,331
資本剰余金	2,450	2,450
利益剰余金	30,804	30,252
自己株式	△2,419	△2,419
株主資本合計	33,166	32,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	894	1,121
為替換算調整勘定	4,724	5,875
退職給付に係る調整累計額	79	74
その他の包括利益累計額合計	5,698	7,071
純資産合計	38,865	39,686
負債純資産合計	48,410	49,317

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	8,897	9,582
売上原価	6,698	7,136
売上総利益	2,199	2,446
販売費及び一般管理費	1,671	1,781
営業利益	528	664
営業外収益		
受取利息	48	86
為替差益	—	148
その他	102	67
営業外収益合計	150	301
営業外費用		
支払利息	5	5
為替差損	23	—
減価償却費	—	3
その他	6	7
営業外費用合計	35	15
経常利益	643	950
特別利益		
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	0
特別損失		
固定資産除売却損	3	4
特別損失合計	3	4
税金等調整前四半期純利益	644	946
法人税等	189	262
四半期純利益	455	684
親会社株主に帰属する四半期純利益	455	684

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	455	684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	58	226
為替換算調整勘定	281	1,151
退職給付に係る調整額	△0	△5
その他の包括利益合計	339	1,372
四半期包括利益	794	2,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794	2,057
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当社及び国内連結子会社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を用いた計算をしております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	2,269	3,024	2,596	7,890	1,007	8,897	—	8,897
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,025	46	281	1,353	9	1,362	△1,362	—
計	3,295	3,070	2,877	9,244	1,016	10,260	△1,362	8,897
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	20	218	307	546	△15	531	△2	528

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	日本	東南アジア	中国	計				
売上高								
(1)外部顧客への売上高	2,544	3,364	2,444	8,354	1,228	9,582	—	9,582
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	990	23	263	1,277	16	1,294	△1,294	—
計	3,535	3,388	2,708	9,632	1,245	10,877	△1,294	9,582
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	196	301	179	677	△20	656	7	664

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、北米等の現地法人の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。